

令和元年 12月15日(日) 正月準備 大しめ縄など製作

神社関係者及びOBの方々総出で行われました。大しめ縄など大量のしめ縄・大根注連だいこんじめを製作します。先週の篝火組み上げに続き今週・来週の準備を経て大晦日・令和初の元旦を迎える、一番忙しい月です。



大しめ縄の素材を製作 (9:32)



治具を使って鳥居用のしめ縄の製作 左織い (ひだりない)



↑古いしめ縄と竹です 大しめ縄の3本目を製作中



ベテランが細い縄を手でなっています



この後3本を撚って完成 昨年より少し細身です



大根注連 (だいこんじめ) を製作中



大しめ縄の取り付け完了です

**しめなわ** {標縄・注連縄・七五三縄} (シメは占めるの意) 神前または神事の場に不浄なものへの侵入を禁ずる印として張る縄。一般には、新年に門戸に、また、神棚に張る。左捻(よ)りを定式とし、三筋・五筋・七筋と、順次に藁の茎を捻り放して垂れ、その間々に紙垂(かみしで)を下げる。(広辞苑より) 神様からみたときに元の太い部分が左側になるように飾ります。

